

7:29

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第23483報)

2022年4月22日7時25分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第23481報他でお知らせした、3号機起動変圧器(B)の絶縁油(PCB含有)漏えいについて、その後の状況をお知らせします。 漏えいについては、受け容器を設置して以降、周辺に漏えい拡大のないことを確認しております。 01時40分頃、漏えい箇所の応急処置が完了し漏えい量は減少しております。 漏えい量は6時時点で2秒に1滴程度となっております。 【公表区分: C続】
その他の事項の対応(注3)	なし ※添付の有リ・無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所様式9-1(1/2)
(第23484報)

応急措置の概要(原子炉施設)

2022年4月22日14時20分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野, 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第23451報他でお知らせしたとおり、1号機の原子炉注水設備においては、今後の水中ROVによる調査再開の準備に伴い、本日10時19分原子炉注水量を以下の通り変更しました。 <原子炉注水変更> 原子炉注水量 : 4.8 m ³ /h → 5.3 m ³ /h 内訳 ・FDW系注水量 : 3.3 m ³ /h → 3.8 m ³ /h ・CS系注水量 : 1.5 m ³ /hにて変更なし 関連パラメータについては、異常のないことを確認しました。 引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視してまいります。 【公表区分:E】
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有り(無し)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

14:35

様式0-1(1/2)

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23485報)

2022年 4月20日 14時20分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [4月22日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 4月21日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 4月20日、4月21日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 4月19日、4月21日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 4月21日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>・サブドレン他水処理施設一時貯水タンクLの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、4月23日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 4月18日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

- (注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/11

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年4月22日 11:00現在

(原簿参照)
各計測値については、当該の計測装置の精度を勘案し、当該の計測装置の仕様を
踏まえておおよそ5%の余裕を、正しく測定しているか確認する必要がある。このよう
な余裕を考慮するに、このよう記述の計測値が若干異なる場合がある。また、計測
プログラムの改定等により、このよう記述の計測値が若干異なる場合がある。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 3.8 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (4/22 11:00 現在)	給水系: 1.8 m ³ /h CS系: 0.0 m ³ /h (4/22 11:00 現在)	給水系: 1.7 m ³ /h CS系: 0.0 m ³ /h (4/22 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 各部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 15.6 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 14.9 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 15.0 °C (4/22 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69F3): 23.3 °C RPV 温度 (TE-2-3-69F): 28.2 °C (4/22 11:00 現在)	スカーション上部温度 (TE-2-3-69F1): 21.6 °C FPV 底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 19.4 °C (4/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HMH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 15.0 °C HMH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 15.0 °C (4/22 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 23.5 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HMV-2-16B (TE-16-114G#1): 23.8 °C (4/22 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 21.2 °C 格納容器空調機排気空気温度 (TE-16-114F#1): 19.3 °C (4/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.19 kPa g (4/22 11:00 現在)	4.04 kPa g (4/22 11:00 現在)	0.45 kPa g (4/22 11:00 現在)	
空室封入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.36 Nm ³ /h (JP-A): 14.06 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (4/22 11:00 現在)	RPV-A: 5.49 Nm ³ /h RPV-B: 5.55 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (4/22 11:00 現在)	FPV-A: 8.32 Nm ³ /h FPV-B: 8.61 Nm ³ /h FCV: - Nm ³ /h (4/22 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	20.5 m ³ /h (4/22 11:00 現在)	19.13 Nm ³ /h (4/22 11:00 現在)	19.72 Nm ³ /h (4/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (4/22 11:00 現在)	A系: 0.09 vol% B系: 0.09 vol% (4/22 11:00 現在)	A系: 0.11 vol% B系: 0.10 vol% (4/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射線強度 {Xe135} ※2	A系: 指示値 8.26E-04 検出限界値 3.58E-04 B系: 指示値 6.07E-04 検出限界値 4.01E-04 (4/22 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01 (4/22 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 B系: 指示値 - 検出限界値 - (4/22 11:00 現在)	※5 ※6
使用済燃料プール 水温度	21.0 °C (4/22 11:00 現在)	20.3 °C (4/22 11:00 現在)	- °C (4/22 11:00 現在)	※5 (4/22 11:00 現在)
FPC 注水リヤ 水位	4.15 m (4/22 11:00 現在)	3.51 m (4/22 11:00 現在)	- m (4/22 11:00 現在)	※6 67.1 X100mm (4/22 11:00 現在)

計測値の単位は省略
※1: 原子炉格納容器内の水素濃度は、格納容器内の水素濃度を示す。(水素濃度) (単位は vol%)
※2: 原子炉格納容器内の放射線強度は、放射線検出器 (Xe135) の放射線強度を示す。
※3: 原子炉格納容器内の放射線強度は、放射線検出器 (Xe135) の放射線強度を示す。
※4: 原子炉格納容器内の放射線強度は、放射線検出器 (Xe135) の放射線強度を示す。
※5: 原子炉格納容器内の放射線強度は、放射線検出器 (Xe135) の放射線強度を示す。
※6: 原子炉格納容器内の放射線強度は、放射線検出器 (Xe135) の放射線強度を示す。

3/11

2022年4月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (Y)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/04/21 07:40	< 4.8E+00	< 4.8E+00	< 4.8E+00
プロセス主建屋北東	2022/04/21 08:45	< 3.7E+00	< 4.4E+00	< 3.4E+00
プロセス主建屋南東	2022/04/21 08:40	< 4.5E+00	< 5.8E+00	< 5.9E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2022/04/21 08:30	< 4.4E+00	< 4.2E+00	< 3.9E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2022/04/21 08:34	< 4.2E+00	< 5.3E+00	2.0E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2022/04/21 08:25	< 3.6E+00	< 3.5E+00	< 3.9E+00
サイトバンカ建屋南東	2022/04/21 07:46	< 4.2E+00	< 2.7E+00	< 3.4E+00

・検査毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±0とは、O.O×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

4/11

2022年4月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進センター

構内排水路 分析結果 (全β・H-3・Y)

採取地点	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/04/20 07:50	3.8E+00	< 7.6E+00	< 7.4E-01	2.8E+00
物揚塵排水路	2022/04/20 07:54	3.8E+00	< 7.7E+00	< 4.7E-01	8.4E-01
K排水路	2022/04/20 06:00	1.6E+01	9.4E+01	< 6.4E-01	8.5E+00
BC排水路	2022/04/20 06:00	3.5E+00	< 7.6E+00	< 4.4E-01	< 4.7E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—	—

・核種毎の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
 ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・O.OE±0とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。
 (例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
 ・採取当日の降雨量は0 mm
 ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
 ・H-3以外は既にお知らせ済み。
 ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

5/11

2022年4月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/04/21 07:42	5.2E+00	< 5.9E-01	2.8E+00
物揚場排水路	2022/04/21 07:38	4.0E+00	< 7.0E-01	8.5E-01
K排水路	2022/04/21 06:00	5.8E+00	< 4.8E-01	4.9E+00
BC排水路	2022/04/21 06:00	< 3.1E+00	< 3.9E-01	< 5.6E-01
5,6号構排水路※1	—	—	—	—

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.OE±Oとは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・採取当日の降雨量は1 mm

・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。

※1 5,6号構排水路は1回/月に分析を実施。

6/11

2022年4月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	その後の検査結果				Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
				Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)			
No.0-1		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	2022/04/19 08:03	25E+04	3.0E+04	< 2.7E-01	< 3.9E-01	< 3.1E+00	< 1.1E+00	< 3.1E-01	2.9E+00	-
No.1-5	2022/04/19 07:35	8.9E+05	8.5E+02	< 5.3E+01	< 3.9E+01	< 1.9E+03	< 1.0E+00	7.1E+03	2.3E+05	-
No.1-9	2022/04/19 08:38	1.1E+04	3.9E+03	< 1.9E+00	< 2.2E+00	< 2.7E+01	< 1.3E+01	8.4E+00	1.9E+02	-
No.1-9 83		-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-11	2022/04/19 09:00	7.7E+01	7.6E+02	< 2.2E-03	< 2.8E-01	< 2.5E+00	< 1.0E+00	< 3.8E-01	9.3E+00	-
No.1-12	2022/04/19 07:40	1.6E+03	2.3E+04	< 1.4E+00	< 1.4E+00	< 2.4E+01	< 1.4E+01	1.9E+01	6.9E+02	-
No.1-14	2022/04/19 07:45	4.5E+04	7.5E+02	< 4.8E-01	< 3.5E-01	< 5.2E+00	< 2.0E+00	< 5.0E-01	1.3E+00	-
No.1-16	2022/04/19 09:32	1.7E+04	1.6E+02	< 3.4E-01	< 3.5E-01	< 5.3E+00	< 2.4E+00	4.1E+04	1.2E+02	-
No.1-17	2022/04/19 08:11	9.8E+04	8.0E+03	< 3.3E-01	< 2.6E-01	< 3.9E+00	< 1.2E+00	< 4.9E-01	3.4E+00	-

採取地点の半減期: H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sr-125(約28年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不符号 (<:小丸)は、検出限界未満 (ND)を示す。

・測定対象物質および採取時点の項目は「-」と記す。

・O.O.E.L.Oとは、 0.0×10^4 であることを示す。

(例) 3.1E+04は 3.1×10^4 で31, 3.1E+00は3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と表す。

・H-3以外は既述の状態であり、

※ 1 No.1-9は、検出率による制限であるため、測定結果として去離後に測定。

7/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目									
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Cd-60 (Bq/L)	Pu-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)	
1,2号観測孔ポイント 汲み上げ水	2022/04/19 08:55	1.7E+05	1.5E+04	< 7.0E-01	< 5.0E-01	< 8.5E+00	< 1.5E+05	4.7E+00	—	—	
No.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-5 ※2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2,3号観測孔ポイント 汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3-4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3-5 ※2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3,4号観測孔ポイント 汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

・塩素の半減期：H-3(約12年), Mn-54(約310日), Cd-60(約5年), Ru-106(約570日), Sb-125(約60年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不符号 (<:小文字) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.OE±Oとは、 0.0×10^0 であることを示す。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・H-3以外は既に分析済み済み。

※2 No.2-5, No.3-5は、雨水による汚染であるため、測定は実施せず。余白は参考値として記載に前記。

8/11

2022年4月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目							塩素 (ppm)
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	2022/04/21 (8:25)	3.1E+01	< 2.3E-01	< 3.7E-01	< 3.3E+00	< 1.3E+00	< 3.8E-01	5.9E-01	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・検出限界値: Mn-54(約10日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sr-125(約1年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不検出 (<: 小記号) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・0.0E±0とは、0.0×10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は0.31×10⁻¹で0.31と読む。

※1: No.1-9は、降水による採取のため、γ測定は実施せず。全βは参考値としての測定に留意。

9/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

観測地点	採取日時	分析項目											
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)				
1,2号機ウエルポイント 汲み上げ水													
No.2	2022/04/21 07:45	2.1E+02	< 3.4E-01	< 4.0E-01	< 3.4E+00	< 1.3E+00	< 3.8E-01	8.0E-01					
No.2-2	2022/04/21 08:05	1.4E+02	< 1.9E+00	< 2.2E+00	< 2.3E+01	< 8.3E+00	2.0E+00	4.4E+01					
No.2-3	2022/04/21 08:10	2.1E+04	< 2.2E-01	< 2.6E-01	< 2.5E+00	< 9.3E-01	< 2.8E-01	2.1E+00					
No.2-5 *2													
No.2-6													
No.2-7													
No.2-8	2022/04/21 07:50	3.0E+03	< 3.2E-01	< 3.1E-01	< 2.6E+00	< 9.6E-01	< 4.6E-01	3.5E+00					
2,3号機底層ウエル 汲み上げ水													
No.3	2022/04/21 07:35	1.7E+02	< 2.0E-01	< 2.5E-01	< 2.4E+00	< 8.6E-01	< 2.9E-01	6.6E+00					
No.3-2	2022/04/21 07:55	5.6E+02	< 1.7E+00	< 2.6E+00	< 1.4E+01	< 4.9E+00	< 2.0E+00	3.4E+00					
No.3-3	2022/04/21 08:00	1.9E+03	< 3.7E+00	< 5.1E+00	< 4.9E+01	< 2.2E+01	< 6.9E+00	2.3E+02					
No.3-4	2022/04/21 07:25	< 1.2E+01	< 1.0E+00	< 1.1E+00	< 9.5E+00	< 3.4E+00	< 9.2E-01	5.1E+00					
No.3-5 *2	2022/04/21 07:30	1.9E+01										2.4E+02	
3,4号機底層ウエル 汲み上げ水													

・検出限の半値値: Mn-54(第310日), Co-60(第5年), Ru-106(第70日), Sr-125(第3年), Cs-134(第2年), Cs-137(第30年)
 ・不符号 (< ; 小文字) は、検出限界未満 (ND) を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・O.OE±Oとは、O.Ox10⁰であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は0.31×10⁻¹で0.31と読む。
 ※2. No.2-5, No.3-5は、取水器による採取であるため、Y測定は実施せず。全βは参考値としてY測定に測定。

2022年4月22日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

16/11

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/04/21 08:06	—	< 7.1E-01	< 7.9E-01
1F 6号機取水口前	2022/04/21 07:56	< 1.3E+01	< 2.7E-01	< 3.7E-01
1F 物揚場前	2022/04/21 07:33	< 1.3E+01	< 2.9E-01	3.6E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東防波堤北側)	2022/04/21 07:29	< 1.3E+01	< 3.4E-01	2.1E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2022/04/21 07:24	< 1.3E+01	< 3.1E-01	5.0E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/04/21 06:35	8.6E+00	< 7.2E-01	< 5.1E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/04/21 06:33	< 1.4E+01	< 2.9E-01	< 2.7E-01
1F 港湾中央	2022/04/21 06:29	< 1.4E+01	< 3.0E-01	3.8E-01
1F 港湾内東側	2022/04/21 06:31	< 1.3E+01	< 2.9E-01	< 3.6E-01
1F 港湾内西側	2022/04/21 06:27	1.7E+01	< 3.1E-01	4.3E-01
1F 港湾内北側	2022/04/21 06:25	1.8E+01	< 1.7E-01	3.8E-01
1F 港湾内南側	2022/04/21 06:35	1.5E+01	< 2.7E-01	5.2E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
告示濃度限度 ^{※1}			6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 ・不等号 (<: 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
 ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
 ・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。
 ※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
 (別添第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本添では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])
 ※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2022年4月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目					
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他 γ核種	
一時貯水タンク (サンプルタンク)	2022/04/18 08:07	700	東京電力 東北緑化環境保全(株)	< 2.0E+00	8.2E+02	< 6.8E-01	< 6.5E-01	検出なし	
				< 3.6E-01	8.7E+02	< 6.2E-01	< 6.6E-01	検出なし	
				3.0E+00 (1.0E+00) ^{※1}	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出されないうこと ^{※2}	
					6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01		
					1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01		
運用目標									
告示濃度限度 ^{※3}									
WHO飲料水質ガイドライン									

・核種の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・0.0E±0 とは、0.0×10⁰ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全量については、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/L以下にて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

11
11

14:35

1/2

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第23486報)

2022年 4月22日 14時20分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路上流側立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。 ・1号機、2号機放水路 分析結果 [採取日 4月20日] 今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。 【公表区分: その他】
その他の事項の対応(注3)	なし ※添付の有(有)り・無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/2

2022年4月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

1号機, 2号機放水路 分析結果

採取地点	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機放水路立坑水	上流側	4.2E+03	< 1.1E+02	9.3E+01	3.5E+03
	下流側	2.2E+03	4.5E+02	2.0E+01	7.0E+02
2号機放水路立坑水	上流側	1.2E+03	< 1.1E+02	1.9E+01	8.1E+02
	下流側	7.0E+01	< 1.1E+02	< 6.5E+00	3.3E+01

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

14:35

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第23487報)

2022年4月22日14時20分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第23480報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクKに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。 ・排水開始 : 10時05分 ・排水終了 : 13時07分 ・排水量 : 450m ³ 排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。 【公表区分:E】
その他の事項の対応(注3)	なし ※添付の有り・無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

1501

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

訂正 Rev. 以下修正(村) Rev. 発信日時
2022年4月22日 14時49分

緊急措置の概要 (原子炉施設)

(第23485報)

内閣総理大臣、原子力規制委員会、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

2022年4月22日(4時20分) 22

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、緊急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号、省令第21条第1項ロ) (対応日時、対応の概要)
発生事象と対応の概要(注2)	プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。 <ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [4月22日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 4月21日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 4月20日、4月21日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 4月19日、4月21日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 4月21日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクLの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用日標値を満足していたことから、4月23日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 4月18日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有り無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考：この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

- (注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/11

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年4月22日 11:00現在

【重要事項】
各機器類については、仕様やその後の取組等の変更を要して、正常で使用可能状態を
保てているものもあり、正しく記載されていない可能性のある計測値も存在している。
プラントの稼働に支障を及ぼすおそれがあるため、このように計測値の不確かさを考慮し、必要
の計測値から得られる情報を活用して変化の検出にも留意して異常発生に留意している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 38 m ³ /h CS系: 15 m ³ /h (4/22 11:00 現在)	給水系: 1.8 m ³ /h CS系: 0.0 m ³ /h (4/22 11:00 現在)	給水系: 1.7 m ³ /h CS系: 0.0 m ³ /h (4/22 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 内部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 156 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 14.9 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 15.0 °C (4/22 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 23.3 °C RPV温度 (TE-2-3-69H): 28.2 °C (4/22 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 21.6 °C RPV上部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 19.4 °C (4/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内部温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 15.0 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 15.0 °C (4/22 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 23.5 °C SUPPLY AIR/DW COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 23.8 °C (4/22 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 21.2 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114G#1): 19.3 °C (4/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.19 kPa g (4/22 11:00 現在)	4.04 kPa g (4/22 11:00 現在)	0.45 kPa g (4/22 11:00 現在)	
蒸発器入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.36 Nm ³ /h (JP-A): 14.06 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h (4/22 11:00 現在)	RPV-A: 6.49 Nm ³ /h RPV-B: 6.55 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (4/22 11:00 現在)	RPV-A: 8.32 Nm ³ /h RPV-B: 8.61 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (4/22 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 非蒸流量	20.5 m ³ /h (4/22 11:00 現在)	19.13 Nm ³ /h (4/22 11:00 現在)	19.72 Nm ³ /h (4/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (4/22 11:00 現在)	A系: 0.09 vol% B系: 0.09 vol% (4/22 11:00 現在)	A系: 0.11 vol% B系: 0.10 vol% (4/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 Xe135 ※2	A系: 指示値 826E-04 Ba/cm ³ 検出限界値 356E-04 B系: 指示値 6.07E-04 Ba/cm ³ 検出限界値 4.01E-04 (4/22 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01 Ba/cm ³ (4/22 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 ND (4/22 11:00 現在)	※6
使用済燃料プール 水温度	21.0 °C (4/22 11:00 現在)	20.3 °C (4/22 11:00 現在)	℃ (4/22 11:00 現在)	※5 (4/22 11:00 現在)
FPC 冷却水 水位	4.15 m (4/22 11:00 現在)	3.51 m (4/22 11:00 現在)	m (4/22 11:00 現在)	※6 (4/22 11:00 現在)

【注】単位は標準状態を示す。
※1: 蒸気中の水素濃度を示す。(格納容器内格納空気中の水素濃度は、格納容器上部の空気中の水素濃度と異なる)
※2: 放射能濃度は、格納容器内の放射能濃度を示す。
※3: 蒸気中の放射能濃度を示す。
※4: 蒸気中の放射能濃度を示す。
※5: 格納容器内の放射能濃度を示す。
※6: 格納容器内の放射能濃度を示す。

3/11

2022年4月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/04/21 07:40	< 4.8E+00	< 4.8E+00	< 4.8E+00
プロセス主建屋北東	2022/04/21 08:45	< 3.7E+00	< 4.4E+00	< 3.4E+00
プロセス主建屋南東	2022/04/21 08:40	< 4.5E+00	< 5.8E+00	< 5.9E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2022/04/21 08:30	< 4.4E+00	< 4.2E+00	< 3.9E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2022/04/21 08:34	< 4.2E+00	< 5.3E+00	2.0E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2022/04/21 08:25	< 3.6E+00	< 3.5E+00	< 3.9E+00
サイトバンカ建屋南東	2022/04/21 07:46	< 4.2E+00	< 2.7E+00	< 3.4E+00

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE#Oとは、 $O.O \times 10^{#O}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

4/11

2022年4月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・H-3・Y)

採取地点	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/04/20 07:50	3.8E+00	< 7.6E+00	< 7.4E-01	2.8E+00
物揚場排水路	2022/04/20 07:54	3.8E+00	< 7.7E+00	< 4.7E-01	8.4E-01
K排水路	2022/04/20 06:00	1.6E+01	9.4E+01	< 6.4E-01	8.5E+00
BC排水路	2022/04/20 06:00	3.5E+00	< 7.6E+00	< 4.4E-01	< 4.7E-01
5,6号機排水路*1	—	—	—	—	—

・核種毎の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{±0}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・採取当日の降雨量は0 mm

・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。

・H-3以外は既にお知らせ済み。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

5/11

2022年4月22日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/04/21 07:42	5.2E+00	< 5.9E-01	2.8E+00
物揚場排水路	2022/04/21 07:38	4.0E+00	< 7.0E-01	8.5E-01
K排水路	2022/04/21 06:00	5.8E+00	< 4.8E-01	4.9E+00
BC排水路	2022/04/21 06:00	< 3.1E+00	< 3.9E-01	< 5.6E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
 ・不等号 (<) は、検出限界未満 (ND) を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・O.OE±Oとは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。
 (例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読み。
 ・採取当日の降雨量は1mm
 ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
 ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

6/11

2022年4月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目												
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)				
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	2022/04/19 08:03	2.5E+04	1.0E+04	< 2.7E-01	< 3.8E-01	< 3.1E+00	< 1.1E+00	< 3.3E-01	2.3E+00	2.3E+00	-	-	-	
No.1-6	2022/04/19 07:35	8.9E+05	4.5E+02	< 5.3E+01	< 3.5E+03	< 1.9E+01	< 1.0E+03	7.3E+01	2.3E+05	2.3E+05	-	-	-	
No.1-8	2022/04/19 08:38	1.1E+09	1.9E+03	< 4.9E+00	< 2.2E+00	< 2.7E+01	< 1.5E+03	8.4E+00	1.9E+02	1.9E+02	-	-	-	
No.1-9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-11	2022/04/19 09:00	7.7E+01	7.6E+02	< 2.2E-01	< 2.8E-01	< 2.5E+00	< 1.0E+00	< 3.0E-01	9.3E+00	9.3E+00	-	-	-	
No.1-12	2022/04/19 07:40	1.6E+06	1.1E+04	< 1.4E+00	< 1.4E+00	< 2.4E+01	< 1.4E+03	1.8E+01	6.5E+02	6.5E+02	-	-	-	
No.1-14	2022/04/19 07:45	4.5E+04	7.5E+02	< 4.8E-01	< 3.3E-01	< 5.2E+00	< 2.0E+00	< 5.4E-01	1.3E+00	1.3E+00	-	-	-	
No.1-16	2022/04/19 09:32	1.7E+04	1.6E+02	< 3.4E-01	< 3.3E-01	< 5.3E+00	< 2.4E+00	4.7E+00	1.2E+02	1.2E+02	-	-	-	
No.1-17	2022/04/19 08:11	9.8E+04	4.0E+03	< 3.5E-01	< 2.6E-01	< 3.9E+00	< 1.2E+00	< 4.0E-01	3.4E+00	3.4E+00	-	-	-	

・検出限の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約3.10日)、Co-60(約5.3年)、Ru-106(約70日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不検出：「<」の記号は、検出限界未満(ND)を示す。

・測定対象外：本表の項目は「-」と記す。

・O.D.E±0とは、0.0×10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は、3.1×10¹で、3.1E+00は、3.1×10⁰と表す。

・H-3以外の観測値は省略。

※1 No.1-9は、排水処理による汚染であるため、測定は実施せず、全βは参考値として記録されている。

7/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目										塩素 (ppm)
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他核種注出係数		
1,2号機ウエルズインポート 汲み上げ水	2022/04/19 08:55	1.7E+05	1.5E+04	< 7.0E-01	< 5.0E-01	< 8.5E+00	< 3.2E+00	< 1.5E+00	4.7E+00			-
No.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
No.2-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
No.2-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
No.2-5 #1	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
No.2-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
No.2-7	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
No.2-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
2,3号機ウエルズ 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
No.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
No.3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
No.3-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
No.3-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
No.3-5 #1	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
3,4号機ウエルズ 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-

検出限の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約270日)、Sr-125(約65年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

不検号「<」(小字)は、検出限界未満 (ND)を指す。

測定対象外および検出限中の項目は「-」と記す。

測定対象外は、0.0x10⁻⁰¹であることを示す。

(例) 3.1E+01は3.1x10¹で3.1、3.1E+00は3.1x10⁰で3.1、3.1E-01は3.1x10⁻¹で0.31と読み。

H-3以外は測定精度を要せず。

No.2、No.2-5、No.3-5は、排水系による検出であるため、測定は実施せず。全βは参考値としての値に測定。

8/11

2022年4月22日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

観測地点	採取日時	分析項目							
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (cpm)
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	2022/04/21 08:25	3.1E+01	< 2.4E-01	< 1.7E-01	< 3.3E+00	< 1.1E+00	< 3.8E-03	5.9E-01	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9 *1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*1 検出限界未満: Mn-54(検出日), Co-60(検出日), Ru-106(検出日), Sb-125(検出日), Cs-134(検出日), Cs-137(検出日)
 * 不番号 (<:小字)は、検出限界未満(MD)を示す。
 * 測定対象外および検出限界未満の項目は「-」と表示。
 * O.OE±Oとは、 0.0×10^0 であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で、3.1E+00は 3.1×10^0 で、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で、3.1E-02は 3.1×10^{-2} 。
 ※1 No.1-9は、取水管による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは検出値としての測定に制限。

9/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

観測地点	採取日時	分析項目							単位
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
1,2号機ウエルポイント 汲み上げ水									
No.2	2021/04/21 07:45	2.1E+02	< 3.4E-01	< 4.0E-01	< 3.9E+00	< 1.3E+00	< 3.8E-01	8.0E-01	
No.2-2	2021/04/21 08:05	1.4E+02	< 1.9E+00	< 2.2E+00	< 2.3E+01	< 4.3E+00	2.0E+00	4.4E+01	
No.2-3	2021/04/21 08:10	2.1E+04	< 2.2E-01	< 2.6E-01	< 2.5E+00	< 9.3E-01	< 2.8E-01	2.1E+00	
No.2-5 #2									
No.2-6									
No.2-7									
No.2-8	2021/04/21 07:50	3.0E+03	< 3.2E-01	< 3.1E-01	< 2.6E+00	< 9.6E-01	< 4.6E-01	3.5E+00	
2,3号機放排水 汲み上げ水									
No.3	2021/04/21 07:35	1.7E+02	< 2.0E-01	< 2.5E-01	< 2.4E+00	< 8.6E-01	< 2.9E-01	6.6E+00	
No.3-2	2021/04/21 07:55	5.6E+02	< 1.7E+00	< 2.6E+00	< 1.4E+03	< 4.9E+00	< 2.0E+00	3.4E+00	
No.3-3	2021/04/21 08:00	1.9E+03	< 3.7E+00	< 5.1E+00	< 4.9E+01	< 2.2E+01	< 6.9E+00	2.3E+02	
No.3-4	2021/04/21 07:25	< 1.2E+01	< 1.6E+00	< 1.1E+00	< 9.9E+00	< 3.4E+00	< 9.2E-01	5.1E+00	
No.3-5 #2	2021/04/21 07:30	1.9E+01							2.4E+02
3,4号機放排水 汲み上げ水									

・検査日の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sr-90(約370日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不検号「<」: 小なり 付、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および検出停止の項目は「-」と記す。

・O.D.E.Dとは、 $O \times 10^0$ であることと意味する。
 (例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と表す。

※2. No.2-5、No.3-5は、検水器による誤差であるため、V測定は実施せず、全βは参考値として当該値に決定。

2022年4月22日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一原子力発電所推進カンパニー

16/11

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/04/21 08:06	—	< 7.1E-01	< 7.9E-01
1F 6号機取水口前	2022/04/21 07:56	< 1.3E+01	< 2.7E-01	< 3.7E-01
1F 物揚場前	2022/04/21 07:33	< 1.3E+01	< 2.9E-01	3.6E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東放除染北側)	2022/04/21 07:29	< 1.3E+01	< 3.4E-01	2.1E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (海水壁前)	2022/04/21 07:24	< 1.3E+01	< 3.1E-01	5.0E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/04/21 06:35	8.6E+00	< 7.2E-01	< 5.1E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/04/21 06:33	< 1.4E+01	< 2.9E-01	< 2.7E-01
1F 港湾中央	2022/04/21 06:29	< 1.4E+01	< 3.0E-01	3.8E-01
1F 港湾内東側	2022/04/21 06:31	< 1.3E+01	< 2.9E-01	< 3.6E-01
1F 港湾内西側	2022/04/21 06:27	1.7E+01	< 3.1E-01	4.3E-01
1F 港湾内北側	2022/04/21 06:25	1.8E+01	< 1.7E-01	3.8E-01
1F 港湾内南側	2022/04/21 06:35	1.5E+01	< 2.7E-01	5.2E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
告示濃度限度*1			6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期: Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 ・不等号 (<: 小なり) は, 検出限界値未満 (ND) を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
 ・〇.〇E±〇とは, 〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
 ・物揚場前は, シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。
 ※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
 (別添第一号六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では, Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])
 ※試料採取作業の安全確保ができないため, 採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2022年4月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目				
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他 Y核種
一時貯水タンク (サブドレンタンク)	2022/04/18 08:07	700	東京電力 東北電力環境保全(株)	< 2.0E+00	8.2E+02	< 6.8E-01	< 6.5E-01	検出なし
				< 3.6E-01	8.7E+02	< 6.2E-01	< 6.6E-01	検出なし
				3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出さればいこと ※2
					6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	
					1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	
運用目標								
告示濃度限度※3								
WHO飲料水質ガイドライン								

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・O.OE±Oとは、O.O×10^{±O}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出さればいこと (天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

4/11

16=29

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式0-1(1/2)
(第23488報)

応急措置の概要(原子炉施設)

2022年4月22日16時25分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第23481報他にてお知らせした3号機起動変圧器(B)からの絶縁油漏えいの影響確認のため、3号機起動変圧器(B)周辺サブドレンピット(8箇所)及びNo.4中継タンクの分析を実施したところ、サブドレンピットNo.40にて32mg/Lの油分を検出しました。 なお、サブドレンピットNo.40以外の周辺サブドレンピット(7箇所)及びNo.4中継タンクの分析結果については、検出限界値未滿(検出限界値0.3mg/L)でした。 現在3号機起動変圧器(B)周辺にあるサブドレンピット(8箇所)は汲み上げを停止しておりますが、異常が確認されていない設備については順次運転を再開致します。 今後、サブドレンピットNo.40における油分混入の原因調査を実施してまいります。 【公表区分:C】 ※添付の有リ(無し)
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

- (注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。